

**医療被害者を冒瀆する「証拠隠滅」「事故隠し」**

あまりにひどい

# 「カルテ改ざん」問題 を考えるシンポジウム

**真実を歪める医療界、嘘を許してきた司法界**

日時：2004年7月10日(土) 午後 13:30 ~ 16:30

場所：エル大阪(大阪府立労働センター)6階大会議室

(京阪電車または地下鉄谷町線「天満橋駅」下車、西へ徒歩約5分。 06-6942-0001)

## —— <第1部> 医療被害者による実態告発 ——

医療界に蔓延する「カルテ改ざん」「証拠隠滅」「事故隠し」の数々の手口・実例。  
医療裁判に取り組む多くの原告本人が直接、あまりにもひどい実態を報告します。

## —— <第2部> 医師・弁護士らによる講演 ——

産科紛争におけるカルテ改ざんの数々と被害者の闘い  
出元明美氏(「陣痛促進剤による被害を考える会」代表)

カルテ改ざんに関する全国弁護士アンケート中間報告  
岸本達司氏(弁護士、「大阪HIV薬害訴訟」弁護団)

医療裁判を歪めてきたカルテの改ざん・隠蔽について  
石川寛俊氏(弁護士、TVドラマ「白い巨塔」監修者)

カルテ改竄・事故隠しが蔓延する医療界の体質と背景  
近藤 誠氏(医師、「慶応大学医学部放射線科」講師)

## —— <第3部> パネル・ディスカッション ——

どうすれば「被害から学ぶ医療」「健全な司法」は実現できるのか

第2部の講演者4名と医療被害者の方を加えたパネラーを中心に、会場の皆さんと共に現状を変えていくためにどうすればよいのかをディスカッションします。(司会：勝村久司)

予約不要で、どなた様でもご自由にご参加頂けます。(会場定員200名)  
受付：PM13時～、参加費：500円(資料代込)、お問い合わせは下記まで。

主催：「医療情報の公開・開示を求める市民の会」  
( )090-8529-7016(メ-ル)cz102077@nifty.com(HP)http://homepage1.nifty.com/hkr/simin/

共催：「陣痛促進剤による被害を考える会」「医療過誤原告の会 関西支部」